

だいでん

第30号
7・1
平成18年7月1日



おおきなせなかに
夢を乗せ^{あす}未来に羽ばたく元気なまち



特集
誰が守る
子どもの安全安心

- 職員募集/大仙市役所、大曲仙北広域市町村圏組合消防吏員
- 広報見聞録
- おおきなせなかに
- 福祉の窓口/福祉制度
- 介護保険事務所から

大曲なかよしウォーキング (6月18日)

誰が守る

子どもの安全安心

子どもが犯罪に巻き込まれる凶悪事件が全国各地で発生している。

また、犯罪までには至らないものの不審者の情報は年々増加している。

子どもを狙った犯罪は

決して都会だけの話ではなく

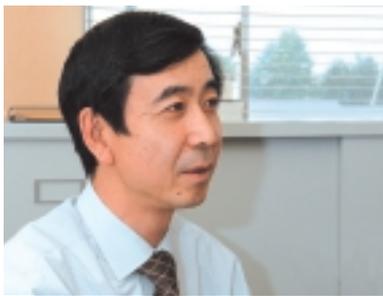
私たちのまちでも

いつ発生してもおかしくない状況だ。

将来を担う子どもたちの安全を守り

安心して暮らせる地域社会のため

私たちは何をしなければならないのか。



Yoshikazu Satou

大仙警察署生活安全課長
佐藤 義和 警部

全国的にも犯罪の少ない安全な地域に分類される秋田県。県内での犯罪件数は、13年をピークに年々減少し、殺人、強盗、放火などといった重要犯罪についても減少傾向にある。

しかし、それでも1日平均約24件、1時間当たり1件の犯罪が県内のどこかで起きている状況や、犯罪に至らない子どもに対する不審行為は年々増えている。

大仙警察署で話を伺った。

子どもを取り巻く危険な状況

■ 本場に安全な地域なのか

滋賀県長浜市、神奈川県川崎市、藤里町と今年に入り下校途中などに子どもが殺害される事件が発生している。秋田県では13年をピークに犯罪件数が減少しており、全国的にも安全な地域に分類されるのだが…。

「確かに犯罪件数は減少していますが、あくまでも統計上での話です。また、テレビ等で報道されるような凶悪犯罪の増加や、犯罪に至らずとも子どもに対する不審情報は増加しています」と佐藤課長は注意を呼びかける。

■ 増加する不審情報

5月には下校途中の小学生が殺害されるという痛ましい事件が県内でも発生した。また、不審者が子どもに声をかけるなどの「声かけ事案等不審者情報」が増加している。

警察で把握している昨年県内での事案数は38件。地区別では秋田中央地区で16件、県南地区14件、県北地区8件となっている。今年になってからは左表のような、大仙警察署管内での事案情報が寄せられている。防犯対策で重要なことは「犯罪の機

会を少なくする」こと。

犯罪発生の原因があっても、犯罪を犯すチャンスがなければ実行されない。つまり、犯罪者にとって人目があつて、いつ通報されるか分からない状況では犯罪が起りにくいと言うことである。

「地域の死角を無くし、人目の少ない危険な場所には近づかないことが肝心。危険を察知することが大切です。もしも危険な状況に遭遇した場合はすばやく逃げて、周囲に知らせ助けを求めることです」と危険から身を守る方法について教えてくれた。

大仙警察署管内での 今年の不審者に関する情報

発生日時 発生場所	事案概要
2月16日 15:45ころ 美郷町	男子児童が帰宅途中、シルバーの軽自動車に乗った男から「おれも同じ美郷町だから乗っていがねが」と声をかけられた
2月22日 15:00ころ 美郷町	集団で下校中の児童が、白色ワゴン車に乗った男からカメラで写真撮影された
3月1日 15:35ころ 大仙市	下校途中の児童が、男から声をかけられ小路に誘われた
4月17日 15:00ころ 美郷町	公園内で遊んでいた女子児童が、男から携帯電話で写真撮影された
5月9日 16:45ころ 美郷町	帰宅途中の女子児童が公園前道路において、男から「どこの小学校名前は」と声をかけられたうえ、腕をつかまれそうになった
5月11日 16:00ころ 大仙市	下校途中の女子児童が灰色の普通乗用自動車を運転してきた女から「小学校の道はどこだべ」と声をかけられたうえ、片手をつかまれそうになった
6月6日 7:35ころ 大仙市	登校途中の女子児童5人が、白色系乗用車に乗った男からデジタルカメラのようなもので写真撮影された

第1部

学 校



子どもたちの学びの場である学校。
今その学校や登下校の安全が脅かされている。
施設設備の点検整備、危機管理マニュアルの作成、
安全教育の実施などさまざまな指導が行われている。
また、地域のコミュニケーションづくりと
信頼関係の醸成にも努めている。
自他の生命を尊重するとともに
「自分の命は自分で守る」
意識や態度の育成が求められる。

教職員による不審者対応訓練の様子。(大曲小学校)



Masakazu Chiba

大曲中学校生徒指導主事
千葉雅一 教諭

県内でも有数の大規模校である大曲中学校(佐々木淳悦校長・生徒数839人)は、校舎、敷地面積ともに広い。県内のどこの学校でもそうであるが、外周が塀などで囲まれていないため、誰でも自由に敷地内に入ることができる。

すべての出入り口をモニター等で監視することは、物理的、経済的にも不可能な状況において、不審者から生徒の安全を守るためには、「いち早く発見する」ことが最大の防御となる。その対応について話を伺った。

不審者早期発見への取り組み

13年の池田小学校での事件以来、学校で作成する危機管理マニュアルに不審者対策の項目が付け加えられ、大曲中学校でもいち早くマニュアルを作成した。不審者への最大の防御は「不審者の早期発見にある」と生徒指導を担当する千葉雅一教諭は言う。

学校では生徒の登校完了後、生徒昇降口が施錠される。学校への入り口が事務室横の職員玄関1カ所になり、入校者は事務室職員のチェックを必ず受けることになる。事務室では来校者の目的などが確認され、来校目的があいまいな場合には、敷地の外へ退去を求め、入校を許可された者は首につり下げる名札が渡され、着用品が義務づけられる。教職員用、保護者用、一般来校者用などと名札ストラップの色を違えているため、何の目的で入校したのか後ろからでも容易に識別できる。

「本校には多くの方々がさまざまな用事でお見えになります。教職員が入校者に対して声をかけ、あいさつし用件を聞くことが不審者の侵入防止と発見の第一歩につながり、非常に大切なことです」。

不審者への最大防御は早期発見にあり

不審者へ対応した避難訓練

昨年11月には、大仙警察署の協力を得て不審者に対応した避難訓練を実施した。今まで年2回行っていた避難訓練は地震災害と火事を想定したものだったが、そのうちの1回を不審者侵入を想定した訓練に変更した。

校舎1階に保護者をかたり不審者が侵入し、刃物を振り回すという想定。警察署員が装う不審者の迫真の演技もあり、本番さながらのものだった。「管理マニュアルを実践の場で検証でき、その後の全校集会では訓練の様子を撮影したビデオを見ながら、子どもたちとともに緊急時の行動について考えることができました」と評価する。



生徒の登校時間が完了する時間になると、生徒昇降口には施錠され、学校への入口は事務室横の職員玄関だけになる。(写真上) 来校者は目的別に色分けされたストラップ式の名札の着用が義務づけられる。

地域の協力を得ながら

今、学校では家庭や地域とともに子どもたちを育てていくという視点に立ち、地域に開かれた学校づくりを進め、「フリー参観日」や「みんなの登校日」など保護者をはじめ地域の方々が気軽に学校を訪れることができるような学校運営を行っている。地域コミュニティとしての学校を目指し、地域とのつながりを大切にしている。

「学校だけの対応では限界があります。地域とのコミュニケーションを図りながら、お互いが危機管理意識の高揚を図り、共通理解を持って生徒の安全確保に努めなければなりません」と協力を呼びかける。



全市をあげて安全対策

当市では、子どもの安全確保や危険箇所の再点検について4月上旬から徹底して取り組んできた。また、4月25日の市内全幼稚園・小学校・中学校の教職員が集まった大仙市教職員研究会では、「子どもの安心・安全が保障できる学校づくり」を重点目標の一つとして提示し、「子どもがつくる危険箇所マップ」作成、「見守り隊」の立ち上げ、「自分の命は自分で守る」態度の育成を各学校にお願いした。

地域を巻き込み防犯教室

6月9日、横堀小学校(森元憲美校長・児童数162人)で防犯教室が行われた。大仙警察署生活安全課の二木雄一警部補ら4人の警察官が学校を訪れて、不審者の対処方法や危険から身を守る方法について詳しく、そして実践的な指導が行われた。「みんなの登校日」にあわせて実施したことで、子どもや教職員だけでなく保護者にも防犯の大切さを一緒に呼びかけた。防犯教室の数日前、学校周

辺に不審者が現れたという警察への通報があったばかり。参加者は危機感を抱きながら防犯教室に臨んだ。

自ら判断し行動できる

防犯教室では「知らない人にはついて行かない」「知らない車に乗らない」などといった危険を予測回避するための方法や防犯ブザーの使い方や大声を出して助けを呼ぶ方法など、警察官が演じる寸劇をつうじて学ぶことができた。子どもたちからは「防犯ブザーの取り付け位置を知った」「いざというとき防犯ブザーを鳴らせることができてよかった」「教えてもらった

ことを思い出して、もしものときに役立てたい」といった感想が聞かれた。

しかし、今の子どもたちは指示されたことに対しては行動するが、自ら判断し行動することが苦手な「指示待ち」の子どもが多いと言われる。そのような子どもたちが実際に自らの力で対応できるかといえは不安な部分も多い。自ら危険を予測し回避するようにするためには、時間をかけながらもしっかりと身に付けさせなければならぬ。

また、見ず知らずの大人を警戒するあまり、いたずらに大人不信を大きくさせないことも大切である。まずは子どもたちが安全な場所であるか、そうでない場所であるかといった状況を自ら判断できることが重要。その判断に基づき、他人への優しさや思いやりを忘れず対応できるよう指導していかねばならない。子どもたちにとって、自ら考え、判断し、行動し、自分の命は自分で守ることは非常に難しいことではあるが、そのような意識や態度を地域が一緒に育てていかなければならない。



二木警部補から防犯についての心構えなどを教えてもらった。

防犯教室

危険を予測・回避できる子ども

子どもたちが被害に巻き込まれる事件や事故を受け、大仙市内の学校では警察や防犯協会の協力を得て防犯教室を実施することとしている。

今回実施される防犯教室は、子どもたち自身が危険を予測し回避する能力を身につけるための安全教育的な推進をねらいにしている。

「大人から守ってもらう」から一歩前進した「自分の命は自分が守る」意識や態度を育成することを目的としている。



「いざというとき」大声を出したり、防犯ブザーを鳴らすことは、意外と難しいと言う。



清水小学校 3年生のみなさん。

地域安全マップ

「清水っ子3年安全マップ」

中仙地域の清水小学校(竹田幸博校長・児童数97人)3年生の教室には模造紙いっぱいに描かれた地域安全マップが貼られている。

「清水っ子3年安全マップ」と名付けられた地図は学校周辺の道路が描かれ、横断歩道や一時停止の位置、自転車から降りて押しながら渡る箇所など、子どもの目線で安全に関する注意事項が記載されている。

大人の目線ではなく、子どもたち自身が気づき、感じた危険箇所を地図に落とし作成した「清水っ子」オリジナル地図について話を伺った。



安全マップの充実を図りたいと話す子どもたち。今後は子どもたちの目線による危険箇所などが書き加えられる。

子どもの目線で安全確認

安全マップの作成は、4月に実施した交通安全教室での自転車教室がきっかけだった。教室終了後、初めて自転車に乗って帰宅することになった3年生。それぞれの通学路を思い出しながら、学校周辺の一時停止や危険箇所を地図に記入していった。

「自分たちで話し合い、楽しみながら作成しました」と担任の角田恵美子先生は作成したときのことを思い出す。

事件や事故が起こるかもしれないと不安に感じる危険箇所や、事件や事故から身を守ることでできる場所などを地

図に表した地域安全マップ。子どもの目線に立ったマップ作成が必要だ。大人と子どもが一緒に、地域を回りながら地域の安全を再度見直さなければならぬ。

子どもたちからは、「誰かに見せるために作ったものではなく、自分たちが安全に家に帰ることができるように作りました」「学校の周りだけでなく、自分の家まで、そして中仙地域全域まで広げたい」「細かく正確に書きたい」「ガードレールなどの安全柵がない危ない川や用水路などを付け加えたい」など、安全マップを充実させたいといった頼もしい意見が聞かれた。

第2部

地域

子どもたちの安全をはぐくむ地域社会。
登下校時の見守り隊や地域の自主防災など
活動が活発になるとともに
組織化が進む。
また、仕事をしながら見守りを行うなど
地域住民が安全に目を光らせ
地域の安全確保に努める動きが
見え始めている。



住民が集まり地域の安全を再確認。大花町自主防災委員会のみなさん。
(6月19日、大花町児童館)

自主防災組織は、自主的な防災活動を実施することを目的とし、学区、町内会、自治会など近隣地域住民を単位として組織される。

「自分たちの地域は自分たちで守ろう」という住民活動は、地域の防災・防犯力を高めるだけでなく、安全で住みやすい地域づくりを進める視点からも重要なことだ。

市内でも先進的な活動に取り組んでいる、大曲地域の^{てんま}大花町自主防災委員会(小山輝朗^{てるみ}委員長)の地域防災体制について話を伺った。

防災活動をコミュニティの核に

大花町はJR大曲駅東側から大曲バypassにかけて広がる町内で、現在、区画整理事業が進められ、数年後には家並みが大きく変わろうとしている。その利便性の高さから、新興住宅やアパートなど新しい住民の多い地区でもある。

大花町町内会(高橋武士会長・会員299世帯)では自主防災委員会を6月に立ち上げた。いままでも自主防災を担当する委員会があったが、今回は目的や事業を明確にし規約を作るなど、組織の拡大充実を図った。組織は情報班、消防安全班、救助班、避難誘導班、給食給水班、水防班の各班からなる。

委員会の情報班では、「各世帯の人数」「乳幼児や高齢者などの災害弱者になりうる人の把握」などといった住民状況の把握や防災・防犯マップ作成、各班との連絡・連携を図りながら住民へ防災に関する情報提供と啓発活動に努めている。

情報班長を務める山信田^{やまのぶ}齊^{なり}さんは、「この町内も高齢化が進み、一人暮らし老人など、災害時に手助けを必要とする方が増えています。普段から世帯状況や危険箇所を把握することは、いざというときに役立ちます。地域の安全安心は住民全員にかかわることですから」と組織の必要性を話す。

取材に訪れた日は地元児童館において、小学生の見守り活動を行っている防犯パトロール隊との情報交換が行われた。パトロール隊は4月から活動を開始し、現在の隊員は15人。毎日小学生の見守りを行っている。

「通学路の状況」「町内の危険箇所」「通学状況」といった毎日のパトロールで気づいたことや、子どもの目線での防災・防犯マップ作成の必要性などが話し合われた。現在はマップづくりに向けた情報収集の段階だが、これらがまとまれば安全に配慮した地域の姿が見えてくる。

「古くからの町内ですから今でも隣近所の付き合いはありますが、昔に比べると付き合いもだいぶ希薄になりました。この活動をとおして、地域の防災・防犯力を高めることはもちろんですが、住民のコミュニケーションを図りながらお互いの顔が見える元気な地域づくりに役立てていきたい」と小山委員長は話す。

コミュニケーションを深め、地域で安全確保



大花町自主防災委員会の情報班とパトロール隊のみなさん。

牛乳配達業者で組織する県メグミルク会が、地域の安全に一役買おうと地域パトロール隊を結成した。

同会を組織する35加盟店の配達員は約500人、配達車両は約200台あり、県警と連絡を取りながら、配達の途中に安全にも目を光らせている。

メグミルク会の会員で、市内に店を構える「やまわ商店」に地域パトロールについて話を伺った。



齋藤順子さんと息子の和弘さん。

地域安全の目

安全に目を光らせ配達業務

老舗で地域の顔

やまわ商店は西仙北地域の旧国道13号沿い西仙北庁舎入り口付近に店を構える。昭和30年の創業というから、今年で51年目を迎える老舗であり地域の顔でもある。店主の齋藤順子さんと息子の和弘さん、嫁の利希子さんの家族3人で牛乳とお菓子の販売業を営んでいる。

県メグミルク会のパトロール隊の結団式は4月、秋田市で行われ、組織する35加盟店が地域社会貢献活動の一環として、安全・安心なまちづくりのための地域安全パトロールに積極的に取り組むこととなった。

結団式に参加した順子さんは、「子どもたちを巻き込んだ悲惨な事件の増加や高齢者の交通事故の増加など、どうしたものかと胸を痛めているときでした。早朝から日中にかけて地域を走る配達業務の特性を生かし、まちの安全に目を光らせることは、すばらしいことだと思いました。防犯ステッカーを手渡されたときは熱いものを感じました」と使命感に燃える。

おやつのおばちゃん

ステッカーを貼ってからの配達では、より地域の安全に気をつけるようになった。

「普段からゆつくりと安全に気を配りながら仕事をしていました。よりいっそう地域の安全、危険箇所などに注意を払っています」

店は牛乳販売だけでなくお菓子の販売も行っており、保育所におやつを納品している。子どもたちからは「おやつのおばちゃん」の愛称で呼ばれることも多い。

「子どもたちに顔を覚えてもらっている分、声も掛けやすいですね。これも商売のおかげだと思えます。配達の途



配達途中、子どもを見かけると車を止め声をかける。

中、子どもたちを見かけるとつつい声をかけてしまいです。何より子どもはかわいいですし、こちらが元気をいただだけです」と3人の孫をもつ順子さんの顔もほころぶ。

地域で目を光らせる

地域に密着型である牛乳販売店。その業務特性を生かし、警察と連携した防犯活動はとても効果的だ。

配達しながらの「ながらパトロール」の実施。防犯ステッカーを貼る貼らないにかかわらず、一人一人が高い防犯意識を持ち、地域が安全安心なまちづくりのため目を光らせることが、地域防犯力の強化につながるはずだ。

無理のない見守りを

小種小学校では1月に児童の安全確保のための話し合いを行い、2月から地域の見守り活動を開始した。

パトロールの依頼文書と見守りの目印となるプレートと保護者と地元の老人クラブに配布した。プレートには小種小学校のマスケットキャラクター「ヤツタネ」が描かれ、とてもかわいく地域色が出ている。裏には活動のお願い事項が次のように書かれている。

「都合のつく日、都合のつく時間帯だけで結構です」

① 愛犬家のみなさんは、子どもたちの下校にあわせ散歩していただけませんか。
② 夕飯の買い物の時など、子どもたちの様子を見ていただけませんか。

③ 散歩や畑仕事の合間に子どもたちの様子を見ていただけませんか。

④ 子どもたちが下校するころ、ちよつと外に出て様子を見ていただけませんか。
「このだれでも簡単に協力できそうなお願いが秘訣」と話す山崎校長。自身が所属する見守り隊を参考に、小種流に

アレンジしたものだ。

「せっかく協力してくださる地域の方々の負担になつては意味がありません。地域の見守りは大切なことです。息の長い活動にしなければなりません」

見守りは決して強制するものでもなく、難しいことでもない。散歩や買い物など、子どもの活動にあわせて時間やコースを変えるだけで、誰にでも可能になる。

交流の深さが安心感に

地元老人クラブの小種宝寿会(田口正美会長・会員94人)と小種小学校の子どもたちとの交流は盛んで、今年で6年目を迎える。学校花壇除草のボランティア、ゲートボールやグラウンド・ゴルフ、卓球、ニュースポーツなどとおした交流、古き良き伝統文化を伝える「炉端を囲む会」の開催、書道やコーラスの指導など、いろいろな機会をとらえながらふれあっている。

「学校から見守りの依頼があったときは、何の抵抗もなく承諾しました。子どもたちも顔を覚えている私たちがパトロールすることで、安心感

を持つと思います」と田口会長は交流の深さがもたらすメリットについて話す。

「子どもが少なくなつてい中で、地域の宝である子どもたちを守るの大人の役目。子どもたちの要望に応えたいと思いますし、それが私たちの生きがいにもつながります」とこれからも地域で見守っていきたいと考えている。

見守りする者、される者。両者には普段からのコミュニケーションが不可欠であり、それが互いの安心感につながる。温かいまなざしによる見守りが続く。



月1度の書道教室の様子。宝寿会と子どもたちのふれあいの機会が多い。

安全パトロール

安心感を与えて

市内では、児童の登下校の安全を見守ってくれるボランティアが31校中29校で組織されている。組織がない2校については、保護者や教職員が送迎しているため外部組織の見守りが必要ない学校である。

P.T.A、町内会、老人クラブなど、さまざまの人們が子どもたちの安全を見守ってくれているが、協和地域の小種小学校(山崎敏校長・全校児童24人)では保護者をはじめ、子どもたちとの交流が深い老人クラブにパトロールを依頼した。小種小学校での取り組みについて伺った。



宝寿会の田口会長は書道の先生でもある。

第3部

学校・地域・行政の連携

公用車へのステッカーの貼り付け。
学校周辺や通学路の巡回や
市職員による安全・安心パトロールの実施など
全職員が危機管理意識を持ちながら
地域の安全確保に乗り出している。
学校、地域で誕生した防犯組織。
それらが連携を強化し
地域防犯力の強化を目指す。



学校、地域、行政と一緒に子どもたちを見守り。
(東大曲小学校での安全・安心パトロール)

子ども安全・安心パトロールの実施



パトロール実施中のステッカーを貼り市役所を出る公用車。

市が保有する公用車のうち稼働率の高い車に「子ども安全パトロール実施中」のステッカーを貼り、パトロールを開始したのが1月31日。総合支所間の移動や現場等へ出かける際、特に子どもたちの下校時の時間帯を中心にパトロールを実施してきた。5月29日からはそれに加えて市職員による巡回パトロールも実施した。

学校、地域の見守り隊などが活動する中、市も一緒になって子どもの安全確保に対応している。

ステッカーを貼り巡回

市が保有する公用車は約350台。その中でも稼働率の高い100台にステッカーを貼った安全パトロールを1月31日から始めている。「子ども安全パトロール実施中大仙市」と書かれた蛍光グリーンステッカーは縦30センチ、幅50センチの大きさで、両側のドアに貼られた。

可能な限り学校の前を通ったり、子どもたちの下校時には通学路を走り巡回している。見守り活動している地域の方々とも連携しながら、地域全体で子どもの安全確保に努めている。また、公用車にステッカーを貼ることで犯罪の抑止につなげたいとしている。

市役所職員がパトロール

5月29日からは、市職員による安全パトロールがより一層強化された。土・日曜日を除く毎日、午前7時から8時までと午後2時から4時までの1日2回のパトロールを職員あげて市内の小学校すべてで実施した。

登校時は職員単独での巡回、下校時はそれぞれの学校に寄って教職員に同乗してもらい、各学校が危険箇所を

チェックした安全マップを見ながらや、そして学校側の要望に応えながら巡回を実施した。また、放送設備を備えた車両は要所で停車し、パトロール中であることをアナウンスし、子どもたちの安全確保のための見守りや情報提供の協力を住民に呼びかけた。

昨今の事件・事故を受けて小さな子どもを持つ保護者が不安を抱く中、全職員が危機感を持ち、積極的にパトロールに参加したことは、地域の安全確保に向けた活動を全市的な取り組みとして広げることができた。

安全確保の連携

子どもたちの登下校時に危険箇所で見守る「見守り隊」や、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう学校内や周辺地域などを見回しする学校安全ボランティア「スクールガード」など、地域での子どもたちの安全確保に向けた組織化が進んでいる。

また、県教育委員会では、子どもたちの安全を守る活動で中心的な役割を担うスクールガード・リーダー36人に委嘱状を交付した。「各小学校の警備のポイントの指摘」「学校の安全体制の評価、指導助言」「学校安全ボラン



大曲地域の8小学校は本庁の職員が担当。腕章とパトロール日誌を持って巡回する。

ティアに対する具体的な指導」などを行うスクールガード・リーダー。当市では3人のリーダーが委嘱され、市内全小学校31校をカバーする。

このように各組織がそれぞれ活発に活動している中、それぞれの機能を十分に発揮し、より効率的で効果的な安全確保のためには、各組織の連携が不可欠だ。

市としては、大仙市防犯協会が中心となり情報交換を行うなど、連絡を密にしながら連携を強化し、地域防犯力の強化を目指している。

小種小学校の1年生たち。



取材を終えて

世界一安全な国「日本」。その中でも比較的犯罪の少ない安全な地域に分類される秋田県だが、その「安全神話」にかげりが見える。

5月に県内で起きた事件は、大きな衝撃と悲しみを地域社会に与えた。子どもをねらった凶悪な事件は都会での話、「対岸の火事」などと思っていた私たちに対して、危険は隣り合わせであることを警鐘した。しかし、その代償はあまりにも大きすぎる。

昨今の小学生は集団登校、あるいは大人に見守られながら家と学校を往復している。とても道草を食いながら歩けるような状況ではない。決して道草をほめるわけではないが、道草しながら危険箇所の把握や予測、回避するといったことなど多くのことを学べたよ
うな気がする。

みんなで守る 子どもの安全安心

地域社会は、子どもたちを育てる揺りかごのようなものだったはず。だからこそ子どもにお使いや留守番を任せられることもできたはずだ。

取材中にお会いした保護者からは、「地域は危ないと感じ外で遊ばない子どもになってしまったのでは」「大人に対する不信任感がゆがんだ形で増長するのではないか」「子どもの心と体のバランスがとれた成長が心配」といった地域の安全確保を願う声が聞かれた。

取材の行き帰り、地域の安全に目を光らせているたくさんの方々を見かけ、地域の安全確保に向けた取り組みは活発になってきていると感じた。

防災・防犯の基本は「自助」「共助」「公助」の3つであるという。住民一人一人が自分の命は自分で守る、地域住民が連携してまちの安全はみんなで守る、行政が災害・犯罪に強い地域の基盤整備を進める、それぞれの頑張りには限界があっても、連携することで地域の防災防犯力はより強化することができるはずだ。

地域の宝である子どもたちを守り、すこやかに育てることができると安全で安心な地域社会を私たちの手で作っていかねばならない。

特集 誰が守る／子どもの安全安心

(終わり)

大仙市の成人式 合併後初の成人式を開催

合併後初めてとなる「大仙市成人式」を開催します。市の出身者か、現在市内に住んでいる方であればどなたでも参加できます。久しぶりに同級生と再会してみませんか。成人式の個人通知はしません。

また、成人式の実行委員として協力してくれる方を募集しています。大仙市として初めての成人式を成功させるため、みなさんの力をお貸しください。

◆対象／昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方で、市内(旧8市町村)出身者か現在市内にお住まいの方

◆日時／8月15日(火)午前10時～

◆会場／大曲市民会館

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習課

0187(63)1111

内線339まで



大仙市としては初めての成人式。みんなで盛り上げましょう。

公用車売却一般競争入札 マイクロバスを売却します

市で使用しなくなった公用車(マイクロバス)1台を一般競争入札により売却します。購入を希望する方は、申込受付期間中に大曲庁舎駐車場で公開していますのでご覧ください。

◆入札日時／7月13日(木)午前9時～

◆会場／大曲庁舎3階第1委員会室

◆申込受付期間／7月3日(月)から11日(火)まで※土・日曜日は除く

◆受付時間／午前8時30分～午後5時

【問い合わせ・申し込み】

管財課管財班

0187(63)1111

内線145まで



バおは、く
ク入の方
イ購えひさ
マス考ぜだ

福祉医療制度

マル福に所得制限が導入

福祉医療制度(通称「マル福」)を長期的に継続するため、8月1日から県の所得基準額をよりゆるやかにした、大仙市独自の所得制限を導入することになりました。

市独自の基準額は「父および母」の所得および扶養者数に応じて判定することになります。更新の日程や該当・非該当などについては、7月中旬ごろに個人宛に通知します。

◆所得制限基準額／

扶養がない 397万2000円

扶養が1人 435万2000円

扶養が2人 473万2000円

扶養が3人 511万2000円

扶養が4人 549万2000円

扶養が5人 587万2000円

【問い合わせ】

国保年金課保険班

0187(63)1111

内線103・128まで

支給要件が変わります

すこやか子育て手当

「すこやか子育て手当」の支給要件が変更になります。

これまでの支給要件では「市内に住所がある満2歳未満児を養育する保護者に対して支給」となっていました。が、8月1日以降は「福祉医療費受給者証を持っている児童の保護者」に変更となります。

なお、現在受給されている方については、今までどおり支給されます。

【問い合わせ】

児童家庭課

0187(63)1111

内線174まで

からの
市役所 お知らせ
Information
Daisen City

男女共同参画川柳・ポスター 作品をお待ちしています

「男女共同参画」を題材とした川柳とポスターを募集します。身近な暮らしの中で感じたことを作品にし、応募してください。

なお、作品は自作で未発表のものに限ります。版權は市に帰属し、男女共同参画のピーアールに使用させていただきますのでご了承ください。

◆対象／市内に住所がある方か、市内に通勤、通学している方

◆各テーマ／

へ川柳へ造語などでも可能です。明るく、分かりやすい作品を募集します。はがき(〒014-8601大仙市大曲花園町1-1男女共同参画室)やファックス(0187(63)1119)でも受け付けます。

へポスターへ用紙の大きさは四つ切りサイズ(約38センチ×54センチ)で、パソコンでの作成も可能です。入賞作品の版權は主催者に帰属します。

◆入賞／最優秀賞1点(図書カード5000円)、優秀賞2点(図書カード2000円)など

◆申込受付期間／7月10日(月)から8月25日(金)まで

【問い合わせ・申し込み】

男女共同参画室

0187(63)1111

内線299まで

男女共同参画図書 興味をお持ちの方は

「男女共同参画」に関する本を、大曲図書館に設置しています。興味をお持ちの方はぜひご利用ください。

◆書名／男女共同参画社会へ(板東真理子)、男女共同参画の時代(岩波新書)、男女共同参画社会(資料集)

【問い合わせ】

大曲図書館

0187(62)1012まで

大曲・南外地域の市営住宅 入居者を募集しています

◆募集住宅／

福見町市営住宅

一般向け1戸(2LDK・S56建設)

梨木田市営住宅

一般向け1戸(3LDK・H8建設)

◆入居資格／

①同居する親族がいる方。ただし、高齢者(60歳以上)や障害者の方は、単身でも入居できる場合があります。

②住宅に困っている方

③収入が条例で定められている収入基準以下の方

④市町村税に滞納がない方

⑤市内に居住する連帯保証人がいる方

◆入居予定日／8月1日(火)

◆家賃／申込者の所得や住宅の設備等

によって異なります。

◆申込受付期間／7月3日(月)から7日(金)までの午前9時～午後5時

【問い合わせ・申し込み】

大曲地域の市営住宅は

都市計画課

0187(66)4908まで

南外地域の市営住宅は

南外総合支所建設課

0187(74)2111まで

夏休み親子環境学習 西仙北地域で湿原観察

県の自然環境保全地域に指定されている小方角沢湿原で自然観察会を行います。赤い妖精と言われる「ハッチョウトンボ」を探しに行きませんか。

◆対象／小学生とその保護者

◆日時／8月4日(金)午前9時～11時

※午前8時30分大曲庁舎に集合し、市のバスで移動

◆行き先／土川

字小杉山沢ノ

内小方角沢方

面

◆定員／

15組30人

◆参加費／無料

◆申込受付期限

／7月20日(木)

【問い合わせ・申し込み】

環境課

0187(63)1111

内線277まで



「赤い妖精」と呼ばれるハッチョウトンボを探してみませんか。

大曲庁舎

大仙市大曲花園町1番1号
0187-63-1111

西仙北庁舎

大仙市刈和野字本町5番地
0187-75-1111

南外庁舎

大仙市南外字下袋218番地
0187-74-2111

大曲南庁舎

大仙市大曲日の出町2丁目8番4号
0187-66-4905

中仙庁舎

大仙市北長野字茶畑141番地
0187-56-2111

仙北庁舎

大仙市高梨字田茂木10番地
0187-63-3003

神岡庁舎

大仙市神宮寺字蓮沼16番地3
0187-72-2111

協和庁舎

大仙市協和境字野田4番地
018-892-2111

太田庁舎

大仙市太田町太田字新田田尻3番地4
0187-88-1111

大仙市各庁舎
住所・電話番号

身体障害者巡回相談

困ったことはありませんか

身体に障害のある方(義肢・肢体)を対象とした巡回相談を行います。

◆日時／7月14日(金)午前10時～正午

◆会場／大曲仙北広域交流センター

◆持参するもの／身体障害者手帳、印鑑

【問い合わせ・申し込み】

援護福祉課障害班

0187(63)1111

内線168まで

市戦没者追悼式

平和と冥福を祈って

市戦没者追悼式を行います。戦没者の遺族の方々に限らず、みなさんの参列をお待ちしています。

◆日時／7月12日(水)午前11時～正午

◆会場／大曲中央公民館

【問い合わせ】

社会福祉課

0187(63)1111

内線158まで

知って安心現代マナー講座

日々の生活、冠婚葬祭に

基本的なマナーを学ぶ「知って安心現代マナー講座」を行います。日常や冠婚葬祭時の知っているようで知らないマナーを学んでみませんか。みなさんの参加をお待ちしています。

◆日時／7月14日、28日、9月1日、22

日、29日の金曜日、午後1時30分～3時

◆会場／女性センター

◆定員／20人

◆参加費／無料

◆持参するもの／台付ふくさ等

◆申込受付期限／7月10日(月)

◆講師／伊藤良子さん

【問い合わせ・申し込み】

女性センター

0187(62)1713まで

場所が移動しました

開発公社と車輛センター

「開発公社」と「車輛センター」の場所が、建物のアスベスト撤去回収作業のため、一時的に移動しました。

開発公社は「国体推進事務局隣り、

内線272・273」に、車輛センター

は「契約検査課隣り・内線271」に

それぞれ移動していますのでご了承ください。なお、10月中旬に元の場所に戻る予定です。

【問い合わせ】

管財課

0187(63)1111

内線145まで

株式会社TMO大曲

花火写真付き記念切手販売

株式会社TMO大曲

株式会社TMO大曲では花火写真付きの切手を販売します。内容は、80円切手10枚に競技大会の歴史や概略が書

かれた台紙のセットです。完全限定販売になりますので、興味をお持ちの方はお早めにお買い求めください。

◆販売開始日／7月3日(月)

◆価格／1700円(花火台紙付き)

◆販売方法／

①観光情報センター、大曲商工会議所窓口などでの直接販売

②全国の郵便局から郵便振替(振替用紙は郵便局備え付けの一般用紙)により申し込みを受け付けます。この場合、送料が別途500円必要です。

郵便振替口座番号／

02270677389

加入者名／株式会社TMO大曲

【問い合わせ】

株式会社TMO大曲

(大曲、商工会議所内)

0187(62)1262まで



限定販売ですので、購入希望の方はお早めに買い求めください。

市役所からの
お知らせ
Information
Daisen City

大仙市役所

職員採用試験

An employment examination,
Daisen City hall.

平成18年度

18年度大仙市職員採用試験を行います。募集する職種は、事務・建築・土木です。

◆受験資格

【一般事務、上級建築・土木】

昭和54年4月2日から60年4月1日までに生まれた方

【中級建築・土木】

昭和57年4月2日から62年4月1日までに生まれた方。ただし、大学を卒業した方、平成18年3月に大学卒業見込みの方を除きます。

◆申込書請求／申込書は7月7日(金)

から総務部人事課および各総合支所地域振興課で交付します。郵便での請求は、総務部人事課で受け付けします。封筒の表に「職員採用試験」と朱書きし、90円切手を貼ってあて先を明記した返信用封筒(定型)を必ず同封してください。

◆採用予定人数／事務・建築・土木あわせて15人

◆申込受付期間／総務部人事課で、7月13日(木)から8月9日(水)までの午前8時30分から午後5時15分まで(土・日、祝日は除く)受け付けます。

◆試験詳細

【第一次試験】

期日／9月3日(日)

時間／午前10時～午後3時

会場／大曲仙北広域交流センターおよび大仙市役所大曲庁舎
試験科目／一般教養、専門試験

【第二次試験】

二次試験は10月中旬ごろを予定しています。詳細については一次試験合格者に文書で通知します。

◆その他／提出していただいた書類は返却しません。

【問い合わせ・申し込み】

大仙市役所総務部人事課

〒014-8601

大仙市大曲花園町1番1号

0187(63)1111

内線204・205・206まで

18年度の大曲仙北広域市町村圏組合消防吏員採用試験を行います。

◆受験資格

【上級】昭和54年4月2日以降に生まれた方で、大学を卒業した、または卒業見込みの方

【初級】

①昭和58年4月2日以降に生まれた方で、高等学校を卒業した、または卒業見込みの方②昭和56年4月2日以降に生まれた方で、高等学校を卒業し救急救命士の資格がある、または取得見込みの方

◆申込書請求／申込書は7月5日(水)

から大曲仙北広域市町村圏組合消防本部総務課か消防署、分署で交付します。郵便での請求は、消防本部総務課で受け付けします。角形2号封筒の表に「採用登録試験申込書請求」と朱書きし、120円切手を貼ったあて先を明記した返信用封筒(長形2号)を必ず同封してください。

◆採用予定人数／若干名

◆申込受付期間／消防本部総務課で、7月10日(月)から8月8日(火)までの午前9時から午後4時30分まで(土・日、祝日は除く)受け付けます。

◆試験詳細

【第一次試験】

期日／9月3日(日)

時間／午前10時～

午後0時30分

会場／サンクエスト大曲

試験科目／一般教養、適正検査

【第二次試験】

期日／10月11日(水)、12日(木)

時間／午前9時～

会場／広域交流センター、市立大曲体育館※変更の可能性あり
試験科目／小論文身体測定など

【問い合わせ・申し込み】

大曲仙北広域市町村圏組合

消防本部総務課

〒014-0061

大仙市大曲栄町13番47号

0187(63)0150

内線311・312まで

職員採用試験

An employment examination,
A fire station.

大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部

大曲市民会館自主事業 33rd 蔦バレエ研究所発表会

6月18日、大曲市民会館を会場に秋田県民芸術祭参加「33rd 蔦バレエ研究所発表会」が行われ、2回の公演で約1,800人の入場者が、芸術性の高いバレエを楽しみました。

蔦バレエ研究所の発表会は今年で33回目。生徒たちはこの舞台のために半年間に渡り練習を積み重ねてきました。

舞台の最後は研究所の生徒全員によるアラジンと魔法のランプをテーマにしたバレエが披露され、感動のフィナーレには、会場から大きな拍手が贈られました。

蔦バレエ研究所の吉沢蔦先生は、「芸術性や質の高い踊りを求めるよりもバレエを楽しんで踊ることが大事。誰でも気軽に踊れるような環境を整え、バレエの楽しさを伝えたい。年齢は関係ないので興味がある方はぜひ挑戦してほしい」と話してくれました。



写真上／アラジンと魔法のランプをテーマにした舞台のフィナーレ。写真左／美しいバレエの舞台。



写真上／国体推進事務局から大曲小学校児童にプランターが手渡されました。

写真右／児童が手入れをしているプランター。



ス 国体選手を出迎える花の手入れをお願い ギッチフラワーサポーター

6月12日、市の国体推進事務局が「スギッチフラワーサポーター」を務める大曲小学校（中村和樹校長・児童数958人）の5、6年生に花のプランターを手渡しました。

手渡されたプランターは100個。5月に行われた都道府県対抗なぎなた大会では、会場となった大曲体育館のさまざまな場所に飾られ、訪れた選手たちを出迎えてくれました。

児童らは、花の手入れを通して、国体の成功に力を貸してくれます。

今年は秋田わか杉大会の前年という事で、大仙市を会場に国体リハーサル大会が行われます。

8月9日から11日まではハンドボールトーナメント、8月20日には自転車競技大会が行われますので、みなさんぜひお越しください。

中 目線をそろえて楽しく交流 仙中学校の生徒が保育体験

笑い声と熱気があふれた遊戯室。つないだ手から笑顔が広がっていきよかったです。



6月8日、9日、中仙中学校(藤峯尉一郎校長・生徒数223人)の3年生が技術・家庭科保育の学習で、中仙西保育園・中仙幼稚園(通称=なかせんワイワイランド、鈴木正園長)を訪問しました。

今回の訪問は、遊戯室で園児たちと自由に交流し、その中で保育を体験するというもの。鈴木園長の「園児たちと目線をそろえることが大事」というアドバイスを受け、生徒たちは徐々に園児たちの気持ちをつかんでいきました。

楽しい遊びの中でも、園児の危険に配慮しながら園児に接していました。

中仙中学校では秋にも保育体験を予定しています。

女性3人にアドバイザーを委嘱 高齢者の事故を防ごう

お年寄りの交通事故を減らそうと、大仙警察署(佐藤愷署長)は市内の女性3人を「高齢者交通安全アドバイザー」に委嘱しました。

委嘱を受けた3人は、同署管内の高齢者宅を訪問し、交通安全指導や反射材を手渡し事故から身を守るためのアドバイスをを行います。

警察署交通課・三浦稔課長は、「県内での交通事故による死者の半数を高齢者が占めています。老人クラブなどでは交通安全指導を実施していますが、そのような活動に参加しない高齢者が被害に遭う場合があるので、こちらから出向いて交通安全を呼びかけたい」と話しています。



委嘱された3人の女性アドバイザー。左から佐藤美幸さん、佐藤由架さん、外山佳代子さん。

池 歴史と風情ある庭園を巡る 田氏庭園特別公開

16年2月に国の名勝に指定された池田氏庭園の特別公開が6月10日、11日の両日行われました。初日はあいにくの曇り空でしたが、2日目は晴天に恵まれ、県内外から訪れた約3,000人の方々が学術的・鑑賞的価値が高い庭園内を見学しました。

庭園としては県内で初めて国の名勝に指定され、敷地面積42,000㎡の広大な庭園には、国内最大級の雪見灯ろうや県内最初の鉄筋コンクリート造りの洋館などが残り、明治・大正時代の面影を今に伝えています。

訪れた人たちは、初夏の新緑が映える庭園を写真に納めたり、雪見灯ろうの大きさに驚くなど、池田氏庭園の素晴らしさを十分に堪能していました。



池田氏庭園には今年もたくさんの方が来場し、美しい日本庭園を楽しみました。

第1回はキッチンハーブ講座 おやじ元気講座

6月18日、農業科学館を会場に「第1回おやじ元気講座」が行われ、参加者がハーブの知識を学び、寄せ植えに挑戦しました。

おやじ元気講座は、お父さんやお母さんに自然や植物などを楽しみながら学んでもらい、それを地域に生かして地域全体を元気にしようという県の事業です。

今回の講座では、ハーブワールドAKITA(由利本荘市)のハーブ企画部・佐藤眞美部長を講師に迎え、実際にハーブティーを味わいながらその作り方や効果などを学びました。今回学んだハーブはお茶や料理に使える種類のもので、食べる喜び、育てる喜びを体験することでその楽しさを知ってもらおうというものです。

おやじ元気講座では、今後も手打ちそばや豆腐づくり、自然観察などを予定しています。第2回講座からの参加も受け付けていますので、ぜひご参加ください。

【問い合わせ・申し込み】 県立農業科学館 0187-68-2300 まで



写真上／先生の指導によりハーブを寄せ植えしました。

写真右／ハーブの調合を熱心に見つめるお父さんたち。



プロ棋士から指導を受ける 子ども囲碁普及事業

梅木8段の指導に、楽しく囲碁を学んだ児童たち。



6月14日、大曲小学校(中村和樹校長・児童数958人)で囲碁教室が行われ、児童たちが日本棋院・梅木英8段(仙北地域出身)から囲碁の指導を受けました。

この囲碁教室は、課外活動推進のために小・中学校の児童・生徒に囲碁の楽しさを知ってもらおうと日本棋院と市が企画した「子ども囲碁普及事業」の一つ。

日本棋院が認定する学校囲碁指導員が指導を希望している市内7つの小学校を周り、子どもたちに囲碁の楽しさを伝え普及を目指します。

今回は「地元の小学生に囲碁を指導したい」という梅木8段の強い希望で、児童への囲碁指導が実現。楽しく囲碁を学んだ児童たち、この中から将来のプロ棋士が生まれるかもしれません。

長年の功績が評価されました 三浦さんが東北管区行政評価局長表彰

大曲地域の行政相談員として活動している三浦淳子さん(花館地区)が、長年にわたる相談員としての功績が認められ東北管区行政評価局長表彰を受賞しました。

行政相談員は、総務大臣から委嘱を受け、行政機関などの業務に対する苦情や意見・要望を聞き、公平な立場から制度や運営の解決を図る「行政と住民のパイプ役」です。

三浦さんは8年から行政相談員として活動しており、たくさんの方々の相談役として行政相談に応じています。



東北管区行政評価局長表彰を受賞した三浦淳子さん。

中 賢い消費者を目指そう 仙消費者の会総会・研修会

6月7日、中仙消費者の会(山信田とく子会長)の総会と研修会が行われ、会員30人が消費者問題について考えました。

消費者の会は家庭の消費活動の主体となる主婦を中心とした団体です。

研修会では、仙北地域振興局の日景俊也さんと大仙警察署の内山亜紀さんが市内の具体的な相談事例を挙げながら「高齢者にかかわる消費者問題について」と題した講話を行いました。

大仙警察署の集計では、17年度中の大仙市での振り込め詐欺被害は、およそ40件、被害額は約2,300万円にものぼるということです。

参加者は消費者問題を改めて身近に感じた様子で、メモを取りながら賢い消費者を目指そうと熱心に聞き入っていました。

仙北地域振興局の日景さんが二人で悩まずに相談することが大事。声を掛け合い日常の話の中から被害を減らして欲しい」と講話しました。



大 歩く楽しさ、健康ウォーキング 曲なかよしウォーキング



なかよしウォーキングのスタート。体力にあった距離を選び、自分のペースで完歩を目指しました。

6月18日、雄物川河川緑地運動公園で大曲なかよしウォーキングが行われ、約500人がウォーキングを楽しみました。

大曲なかよしウォーキングは秋田県主催の「全県一斉ウォーキング月間」に合わせて行われているもので、今年で5回目。ウォーキングコースは、大曲橋(通称金谷橋)の下をスタートし、姫神橋を渡って戻る5kmコースと、伊豆山神社の登り口までを往復する10kmコースの2種類。

当日は梅雨時ながら晴天に恵まれたウォーキング日和。参加した方々は、親子や友だちと一緒に、時間をかけてゆっくと歩き、初夏の風景を楽しみました。



写真上／家ではインターネット利用し全国の相手と対戦し、勝負感を養っています。

写真右／「全国大会では、できるだけ多く勝ちたい」と抱負を述べてくれた怜明さん。

7月に行われる都道府県対抗小中学生将棋団体戦の秋田県チーム代表としても選抜されているそうです。



全 中仙小6年の柏谷さんが優勝 県小中学生将棋王将戦

6月4日、「第16回全県小中学生将棋王将戦」がさがり町センター(秋田市)で行われ、中仙小学校(信田徹校長・児童数251人)6年の柏谷怜明さんが小学生の部で優勝しました。

小学校3年生から大会に出場し、4回目で念願の初優勝。この大会は、全国小学生倉敷王将戦の予選大会でもあります。

父、正人さんの影響で5歳から将棋を始め、4年程前に県南王将会(大曲地域)に通い始めたころからめきめきと将棋の腕が上達。今ではお父さんでもかなわない程強いといいます。8月には岡山県で行われる第5回全国小学生倉敷王将戦に出場し、小学生の部で上位入賞を目指します。

痛んだ箇所を修復「池田氏の洋館」



池田氏庭園内にある洋館は、大正14年に竣工された県内初の鉄筋コンクリート造りの建物。保存のため、数年の間修復工事に入ります。

工事中、その姿を見ることはできませんが、修復後には館内も一部公開する予定です。



あ・も・わ・ず **パチリ**

おおきなせなか お便り広場

あて先はこちらまで

〒014-8601 (住所不要)

大仙市企画部秘書広報課

手紙・ハガキ、またはEメール
(kouhou@city.daisen.akita.jp)で
ご応募ください。

6月1日号に寄せられたお手紙から

児

童たちの田植えの楽しそうな様子。これが子ども本来の姿だと思いました。自分たちが植えた苗がお米になり、ご飯として食べる時どんな感動を覚えるのでしょうか。大仙の明日が見えるよううれしくなりました。

(大曲地域・46歳女性)

広

報だいせんは、私たちの情報網です。さまざまなイベントなどに積極的に参加したいと思います。

(仙北地域・48歳女性)

仙

北組合総合病院が今後どうなるのか、非常に気になります。

(大曲地域・38歳男性)

仙

北組合総合病院の駐車場が広がったらいいと思います。移転できる場所があればいいのですが。

(南外地域・39歳女性)

広

報が届くのがとても楽しみです。一部一部、さまざまなイベントや情報がいつばいで、全部保管しています。

(大曲地域・70歳男性)

広

報見聞録は市民の動向を知る事ができるので楽しみです。

(中仙地域・79歳男性)

お

便りを出し始めてからよく載るようになりました。でも図書カードはまだ当たったことがありません。これからも応募し続けたいと思いますので、よろしくお願いします。

(仙北地域・17歳女性)

新

緑の季節となりました。まもなく嫌な梅雨が始まりますが、気持ちだけはさわやかでいたいです。

(南外地域・51歳女性)

こ

のころ市役所のミスが頻繁にマスコミ等に載っているが、職員の気持ちがかんではいるのではないかと。今一度、初心に戻って頑張ってもらいたい。

(大曲地域・50歳男性)

広

報を初めて見ました。これからは目を通してみようと思います。

(西仙北地域・26歳女性)

息

子が、市の野球連盟が行っている「ちびっこ野球教室」に参加しています。コーチのみなさんは、あいさつに厳しく、野球はやさしく指導してくれるので本当に感謝しています。

子どもたちは一生懸命楽しんでいきます。ぜひ取材に来てください。

大

仙市の広い地域の出来事が手に取るように分かり、月2回の広報は私の楽しみの一つとなりました。

行事や食は、少し離れただけでいろいろなんですね、隣の地域なのに知らないことがたくさんありました。とてもいい広報になっていますね。

(協和地域・23歳男性)

3

年間、神奈川で働いていましたが昨年、冬秋田に帰ってきました。自然に囲まれた秋田。食べ物はいいし、人もあたたかい、やっぱり自分に合っていると思います。

大

紙をいつも楽しみにしています。表紙を来年のカレンダーなどにしてはどうでしょうか。販売したら買いますよ。

(大曲地域・79歳女性)

表

仙市(大曲地域)から美郷町に嫁ぎ30年が経ちました。姑と母の2人を介護する私も60歳になろうとしています。昼は働き、土・日曜日は介護、いつになったら身体が休まるのかこの先不安です。でも、広報の行事予定を見て、参加できるイベントにはぜひ行ってみたいと思います。

(美郷町・56歳女性)

大

30年が経ちました。姑と母の2人を介護する私も60歳になろうとしています。昼は働き、土・日曜日は介護、いつになったら身体が休まるのかこの先不安です。でも、広報の行事予定を見て、参加できるイベントにはぜひ行ってみたいと思います。

(美郷町・56歳女性)

大

30年が経ちました。姑と母の2人を介護する私も60歳になろうとしています。昼は働き、土・日曜日は介護、いつになったら身体が休まるのかこの先不安です。でも、広報の行事予定を見て、参加できるイベントにはぜひ行ってみたいと思います。

(美郷町・56歳女性)

学校栄養士さんの
レ・シ・ピ

Cooking 06

豚肉で夏バテ防止
「豚ロースのスタミナソースかけ」



(1人当たり)	
エネルギー	195kcal
たんぱく質	13.0g
脂質	11.9g
カルシウム	12mg
鉄	0.2mg

材 料(5人分)

- ◆豚ロース(60g) / 5枚 ◆塩・こしょう / 少々 ◆
でんぷん / 25g ◆サラダ油 / 20g
スタミナソース
- ◆ショウガ、ニンニク、いりゴマ、ごま油、塩 /
少々 ◆ニラ / 1 / 2 把 ◆長ネギ / 1 / 5 本 ◆しよ
う油、みりん / 大さじ 1 ◆すりおろしリンゴ /
15g ◆大根おろし / 30 g

作り方

- ①豚ロースに塩、こしょう、でんぷんをまぶしてフライパンで焼く。
 - ②ソースの材料を切る。
ショウガ、ニンニクはみじん切り、長ネギは粗みじん切り、ニラは1cm幅くらいに切る。
 - ③材料と調味料を合わせて煮て、ソースを作る。
 - ④焼いた豚ロースにソースをかけて完成。
- ※うまみである肉汁を逃がさないよう、でんぷんをまぶして焼くとおいしいです。

給食センターでは、協和産SPF豚ロースを使っています。豚肉には、体を疲れにくくしてくれるビタミンB1が多く含まれています。暑い夏には冷たくしてサラダにして食べてもおいしいです。



協和学校給食センター
天野 俱子 栄養士

道 の駅で行われたフリーマーケットに参加しました。いろいろな人と交流することができてとても楽しい1日になりました。地元の人が利用しやすく、人がたくさん来てくれる道の駅になればいいですね。

(中仙地域・36歳女性)

固 定資産税の誤通知があつたが、役所は民間と違つて収益観念が不足していると思う。もつとしっかりしてもらいたい。

(大曲地域・49歳男性)

先 日、池田氏庭園を見ってきました。洋館が復元されれば、資料館としても利用できるのではないのでしょうか。

(大曲地域・68歳男性)

ワ ールドカップ中ですが、私はわか杉国体秋田県チームを応援しています。ガンバレ秋田!!

(大曲地域・22歳女性)

ホ ームページの未 completion を改善し、課や係へのメールアドレスを表記してほしいです。

(大曲地域・30歳男性)

県 政・市政に関心を持たず生活していましたが、広報で市の行事や多種多様な情報を知る事ができるので、予想外に得をしたような気持ちになります。新聞を購読してないので広報だいせんは価値ある情報源です。楽しみに待っています。

(西仙北地域・57歳女性)

市 内には温水プールが少ないですね。老人の健康維持や病気の予防に温水プールは有効と聞いています。ぜひ考えてもらいたいものです。

(協和地域・63歳男性)

い つも楽しく読んでいます。特に学校栄養士さんのレシピは、料理好きの私にとっても役立っています。これからも続けて欲しいです。

(南外地域・21歳男性)

ちょっと一服

5人の方々に図書カード
1,000円分が当たる

広報クイズ
Kouhou Quiz

問題

児童の登下校の安全を守ってくれるボランティアは市内31校の内、何校で組織されているでしょうか？

- ① 24 ② 29 ③ 31

応募方法

答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、広報誌の感想や市への質問などをお書きの上、秘書広報課までお送りください。また、ハガキ以外でもファックス(0187-63-1119)、Eメール(kouhou@city.daisen.akita.jp)でご応募ください。

締切は 7月15日(消印有効)

「児童扶養手当」

児童扶養手当は、離婚などにより父と生計を同じくしていない児童、または父が障害者である児童に対して支援する制度です。

児童が18歳になる年度末まで、母または養育者に手当が支給されます。

ただし、老齢福祉年金以外の国民年金、恩給、厚生年金などの公的年金を受給している場合や、事実上の婚姻状態にある場合は支給されません。

◆支給額／

【全部支給】

月額4万1720円

(児童1人の場合)

【一部支給】

月額4万1710円

9850円の間

※児童が2人の場合は、上記金額に5000円の加算、3人以上は1人につき3000円ずつ加算されます。また、支給額は所得に応じて決定されます。

◆支給時期／

4月、8月、12月にそれぞれの前4カ月分をまとめて支給

「特別児童扶養手当」

精神または身体に障害のある20歳未満の児童を監護する父母、またはその児童を養育している人に対して支給さ

れる手当です。

ただし、福祉施設などに入所している場合や、障害を理由に公的年金を受給できる場合は支給されません。

◆支給額／

【1級】月額5万7500円

【2級】月額3万3800円

◆支給時期／

4月、8月、11月の年3回支給されます。

「父子手当」

7月1日現在で市内に在住し、住民基本台帳に登録されている父子家庭であり、義務教育終了前の児童(中学校3年生まで)を扶養している父に対して支給します。

◆支給額／年額1万円

◆申請方法／

印鑑と口座番号を確認できるものを持参し、市福祉事務所児童家庭課または各総合支所市民課福祉担当に、7月末日まで申請してください。支払いは8月下旬ごろを予定しています。

※手当などを申請する際、戸籍謄本が必要な場合は、手数料が免除されますので、申請する時に申し出てください。

その他にもこんな制度が

「子育てと仕事の応援」

■ひとり親家庭就業・

自立支援センター事業

母子家庭の母に対し、就業相談や技能習得のための講習会を実施します。

①就業相談(窓口、電話など)

②就業支援講習会(パソコン講習会、調理員養成講習会、訪問介護員養成研修)

■保育料の援助

ひとり親家庭で、子どもを保育所や幼稚園などに入所させて働いている場合、所得税非課税世帯やそれに準ずる世帯の方々の援助します。

「生活の応援」

■ひとり親家庭日常生活支援事業

ひとり親家庭が就職活動や病気などで、家事・育児に困っている場合、家庭生活支援員を派遣して、日常生活の世話や育児などを行います。

■ひとり親家庭児童訪問援助事業

ひとり親家庭の子どもが心の悩みや学習などで困っている場合、児童訪問援助員を派遣して手伝いを行います。

「資金の貸し付け」

■母子寡婦福祉資金貸付金

母子家庭や寡婦の経済的自立と生活の安定を図るため、無利子または低利子で各種資金の貸し付けを行っています。

Welfare

福祉の窓口

福祉制度

ひとり親家庭の子どもが経済、教育、健康面で心身ともに安定した生活が送れるように、さまざまな支援制度があります。

詳しい内容に関しては、児童家庭課までお問い合わせください。

【問い合わせ】

児童家庭課家庭援助班

0187(63)1111 内線 175・181 まで

市議会本会議中継 議会の今を伝えます



大型テレビで議会を傍聴できます。



議会中継システム。

本会議の一部を市役所各庁舎の大型テレビで中継しています。議場に足を運ばなくても傍聴できますのでぜひご覧ください。今後は傍聴できる場所を増やしていく予定です。

【問い合わせ】
議会事務局
0187(63)1111
内線304まで

介護保険事務所からのお知らせ

平成18年度 介護保険料の納付額

65歳以上の方の介護保険料は所得や住民税課税状況によって決定します(下表)。納付方法は、納付書や口座振替で納める普通徴収と年金からの天引きになる特別徴収に分かれます。

◎ 普通徴収

7月中旬に納付書を送付していますので納付期限日までに納めてください。納め忘れがないよう口座振替をお勧めします。

口座振替の申込用紙は金融機関窓口にて備え付けています。

◆ 普通徴収の対象者

- ① 年金受給額が、年18万円未満または受給していない方
- ② 4月1日現在で年金を受給していない方
- ③ 老齢福祉年金を受給されている方
- ④ 平成18年度中に65歳になる方

◎ 特別徴収

年金から天引きで納付になります。介護保険料の金額については7月中旬に通知します。
また、特別徴収の対象となる年金

【介護保険料納期】

保険料納期	納期限日 口座振替日
第1期	7月31日
第2期	8月31日
第3期	10月2日
第4期	10月31日
第5期	11月30日
第6期	1月4日

納付期限を過ぎると介護保険料に加えて、督促手数料100円がかかる場合があります。

【問い合わせ】

介護保険事務所保険管理班
0187(86)3911まで

の種類が増えました。そのため、今まで普通徴収による納付だった遺族年金と障害者年金が10月から特別徴収になります。受給額が年額18万円以下の場合は、普通徴収となります。

【平成18年度介護保険料】

段階	区分(18年度の住民税課税状況による)	保険料(年額)	
第1段階	生活保護受給者か老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税	23,940円	基準額×0.50
第2段階	住民税非課税世帯で本人の[合計所得金額+課税年金収入額]が年間80万円以下	23,940円	基準額×0.50
第3段階	住民税非課税世帯で本人の[合計所得金額+課税年金収入額]が年間80万円以上	35,910円	基準額×0.75
第4段階	本人が住民税非課税(世帯内に課税者がいる)	47,880円	基準額
第5段階	本人が住民税課税で合計所得金額が200万円未満	59,850円	基準額×1.25
第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額が200万円以上	71,820円	基準額×1.50

*税制改正の影響で保険料段階が上昇した場合には、負担を和らげるため、保険料を段階的に引き上げる激変緩和措置がとられます。



海上自衛隊 大湊音楽隊 コンサート

- ◆開催日／9月10日(日)
- ◆開演／午後2時
- ◆会場／協和市民会館(和ピア)
- ◆整理券配布期日／8月1日(火)
- ◆入場料／無料※整理券必要

【問い合わせ】

協和市民会館(和ピア) 018-892-3820 まで

JAZZ Concert. with Groovin' Hard 林文夫カルテット

ジャズサクソ奏者・林文夫率いるカルテットと、秋田を代表するビッグバンド Groovin' Hard のジョイントコンサートです。

- ◆開催日／9月30日(土)
- ◆開演／午後7時
- ◆会場／中仙市民会館(ドンパル)
- ◆チケット発売日／7月20日(木)
- ◆チケット料金／一般 2,500円、高校生以下 1,500円(全席指定)
- ◆出演者／林文夫／Sax、佐藤雅史／Piano、マーク・トゥリアン／Bass、山下暢彦／Dr、椿康寛／司会

【問い合わせ】

中仙市民会館(ドンパル・月曜休館)
0187-56-7200

※7月30日開催予定の航空自衛隊音楽隊コンサートの整理券配布は終了しましたので、ご了承ください。

第25回 協和 七夕花火

秋田県内では2カ所しかない2尺玉の打ち上げや、400mの幅を使った尺玉一斉打ち上げを行う花火大会です。

また、今回は25周年を記念し、女性花火師による5寸玉の打ち上げ大会も行いますのでぜひご来場ください。

- ◆日時／7月8日(土)午後7時50分～
- ◆会場／協和船岡字上字津野地内



6月18日、雄物川河川敷緑地公園で行われた「大曲なかよしウォーキング」に参加した栗林市長。

【7月の市長の動き】

※日程が変更になる場合があります。

- 3日・月 定例記者会見
大曲高校校舎改築期成同盟会
- 4日・火 秋田県農業集落排
水連絡協議会役員会
大曲仙北広域市町村圏組合
議会臨時会
- 6日・木 大仙市障害者福祉大会
小友川排水改良促進協議会
- 8日・土 大仙市長旗争奪サッカー
スポーツ少年団大会
- 9日・日 雄物川流域一斉クリーンアップ
- 11日・火 大仙市企業連絡協議会設立総会
- 12日・水 大仙市追悼式
- 13日・木 首都圏大曲会
- 16日・日 ドンパンふるさと中仙会総会
- 19日・水 仙北地域保健医療福祉協議会
- 23日・日 大仙市仙北市美郷町支部
消防訓練大会
- 25日・火 中仙地域市長面会日
秋田湾・雄物川流域下水道
大曲処理区建設促進協議会総会
- 28日・金 協和地域市長面会日
- 30日・日 大仙・仙北・美郷畜産共進会表彰式
- 31日・月 大曲西道路一部開通式
(山根～大曲インターチェンジ)

市長交際費 (5月1日～5月31日)

摘要	件数	金額
弔慰	5	50,000
慶祝	40	239,270
協賛	9	91,455
合計	54	380,725

7月の市長面会日

※事前の申し込みが必要です

25日(火) 午前10時～11時30分

会場／中仙総合支所

【問い合わせ・申し込み】

中仙総合支所地域振興課

0187-56-2111

28日(金) 午前10時～11時30分

会場／協和総合支所

【問い合わせ・申し込み】

協和総合支所地域振興課

018-892-2111

(行事予定は都合により日程が変わる場合もあります)



7月の 農業科学館

問い合わせ

秋田県立農業科学館

☎0187-68-2300まで(月曜休館)

※月曜が祝日の場合 火曜日が休館日になります

企画展

■富貴蘭・ウチョウ蘭展

期間/7月15日(土)から17日(月)まで

■涼を呼ぶグリーンプランツ展

期間/7月19日(水)から8月27日(日)まで

■ポタニカルアート展

期間/7月19日(水)から8月6日(日)まで

■夕涼み山野草展

期間/7月28日(金)から30日(日)まで

園芸教室

■バラを楽しむⅡ(I~Ⅲ受講者の方のみ)

日時/7月23日(日)午前9時30分~

■エンジョイ!グリーンプランツ

日時/7月30日(日)午前9時30分~

おやこ自然教室

■夏休み大作戦①炭で遊ぼう

日時/7月29日(土)午前9時30分~

※園芸教室・おやこ自然教室への参加申し込みは、開催日の1カ月前から受け付けます。

献血日程表

【問い合わせ】健康増進課 ☎0187-62-9301まで

期日	時間	会場
南外 12日(水) 成分	10:00~16:00	南外コミュニティーセンター
太田 13日(木) 全血	10:00~11:30 12:30~14:00 14:30~16:00	宮腰精機株式会社 太田文化プラザ 太田保健センター
中仙 19日(水) 成分	10:00~16:00	中仙農村環境改善センター
大曲 20日(木) 全血	10:00~12:00 13:00~14:40 14:50~16:00 9:30~10:40	県立大曲工業高等学校 大曲仙北広域交流センター 東邦技術株式会社 エース光学秋田工場
仙北 21日(金) 全血	11:00~12:00 13:00~14:10 14:30~16:00	仙北就業改善センター タニタハウジングウェア タニタ秋田工場
大曲 22日(土) 全血	10:00~16:00	ふれあい献血キャンペーン スーパーマーケット よねや大曲店
大曲 31日(月) 全血	10:00~11:00 11:10~12:00 13:00~14:45 15:00~16:00	フロムワン(株)秋田工場 橋爪商事(株)大曲支店 東北電力(株)大曲営業所 コムシス東北テクノ(株)

※成分献血は採血終了まで1時間程かかるため、協力者をお待たせしないよう予約制をとっています。成分献血に協力いただける方は健康増進課までお申し込みください。

7/1	(土)	七夕花火 ■午後7時~ ■丸子川と周辺緑地 大曲高校合唱部定期演奏会 ■午後2時開演 ■中仙市民会館(300円)
2	(日)	休日外科当番医: 大曲中通病院 (大曲) 0187-63-2131 休日歯科当番医: 米澤歯科医院 (中仙) 0187-56-4460 小児救急診療: 仙北組合総合病院 (大曲) 0187-63-2111
3	(月)	大曲の花火大会への出店申し込み開始 (~7月10日)
4	(火)	外国人のための出張相談 ■午後2時~ ■ふれあいセンターかまくら館(横手市)
5	(水)	
6	(木)	第16回暴力団壊滅秋田県民大会 ■午後1時30分~ ■秋田市文化会館
7	(金)	
8	(土)	
9	(日)	協和七夕花火 ■午後7時50分~ ■協和船岡字上宇津野地内※P28 ニッコウキスゲ鑑賞登山 ■午前6時集合 ■太田国民休養地「奥羽山荘」 休日外科当番医: 仙北組合総合病院・整形 (大曲) 0187-63-2111 休日歯科当番医: 田口歯科クリニック (仙北市) 0187-53-2212 小児救急診療: 仙北組合総合病院 (大曲) 0187-63-2111
10	(月)	
11	(火)	うつ講座 ■午後1時30分~ ■角館広域交流センター※P31
12	(水)	大仙市追悼式 ■午前11時~ ■大曲中央公民館※P18
13	(木)	調理員養成講座 ■午前9時~ ■かまくら館(横手市)※P30 公用車売却一般競争入札 ■午前9時~ ■市役所大曲庁舎※P16
14	(金)	身体障害者巡回相談 ■午前10時~ ■大曲仙北広域交流センター※P18 知って安心現代マナー講座 ■午後1時30分~ ■女性センター※P18 第15回七夕花火会 ■午後6時~ ■大曲養護学校※P31
15	(土)	第25回合唱祭 ■正午~ ■大曲中央公民館 花と食の饗宴2006 ■午後3時~ ■大曲エンパイヤホテル※P31
16	(日)	休日外科当番医: 仙北組合総合病院・外科 (大曲) 0187-63-2111 休日歯科当番医: 小西歯科医院 (美郷町) 0187-84-1118 小児救急診療: 仙北組合総合病院 (大曲) 0187-63-2111
17	(月)	休日外科当番医: 大曲中通病院 (大曲) 0187-63-2131 休日歯科当番医: 田口歯科医院 (大曲) 0187-63-7117 小児救急診療: 仙北組合総合病院 (大曲) 0187-63-2111
18	(火)	調理員養成講座 ■午前9時~ ■かまくら館(横手市)※P30
19	(水)	うつ病家族教室 ■午後1時30分~ ■大仙保健所※P31
20	(木)	

休祭日救急医療センター(大曲保健センター内)

■内科・小児科 ■午前10時~午後4時

☎0187-62-1015

サンクエスト大曲

熟年 ミニテニス大会

- ◆日時／7月23日(日)午前9時～◆会場／サンクエスト大曲
- ◆参加資格／2人1組(各50歳以上で性別は問いません)
- ◆参加費／1組1,000円◆申込受付期限／7月18日(火)
- 【問い合わせ・申し込み】サンクエスト大曲 0187-63-5572 まで

募集 Invitation

募集受付を行います 自衛官募集

- ◆募集種目／【航空学生】高等学校卒(見込み含む)で21歳未満【一般曹候補学生】18歳以上24歳未満【曹候補士、2等陸・海・空士】18歳以上27歳未満
- ◆申込受付期間／8月1日(火)から9月8日(金)まで
- 【問い合わせ・申し込み】
自衛隊秋田地方連絡部
大仙募集事務所
0187-63-1313 まで

「正義感」は誰にも負けない 警察官(B区分)採用試験

- ◆試験課程／高等学校卒業程度
- ◆第1次試験日時／9月16日(土)、17日(日)
- ◆申込受付期間／7月18日(火)から8月4日(金)まで
- ◆試験内容／筆記試験(択一式50問筆記試験)、論(作)文、体力
- 【問い合わせ・申し込み】
秋田県警察本部警務人事課
018-863-1111
大仙警察署
0187-63-3355 まで



放送大学で学びませんか 18年度第2学期学生募集

- 放送大学では18年度第2学期学生の募集を行います。放送大学はテレビやラジオで授業を行う正規の大学です。1科目からでも学べ、入学試験はありません。
- ◆申込受付期限／8月15日(火)
- 【問い合わせ・資料請求】
放送大学秋田学習センター
018-831-1997 まで

職員の募集を行います 秋田県国保連合会

- ◆受験資格／①昭和52年4月2日から平成元年4月1日まで生まれた方②昭和60年4月2日以降に生まれた方で、大学卒または卒業見込みの方③昭和63年4月2日以降に生まれた方で、高校卒または卒業見込みの方
- ◆一次試験日時／9月17日(日)午前9時～
- ◆会場／秋田経済法科大学
- ◆申込受付期間／7月27日(木)から8月18日(金)まで
- 【問い合わせ・申し込み】
秋田県国民健康保険団体連合会
018-862-6864 まで

スポーツ Sports

楽しみながら水泳 大曲ドルフィンズ団員募集

- ◆対象／小学4年生から中学3年生までで、市内に住んでいる方
- ◆活動日時／毎週木曜日の午後5時～6時30分、毎週土・日曜日の午前10時～正午
- ◆活動場所／大仙市民プール
- ◆年会費／10,000円(登録料・保険料含む)
- 【問い合わせ・申し込み】
大曲ドルフィンズ
中川正行代表
0187-63-5199 まで

一緒にテニスをしませんか 初心者テニス教室

- ◆対象／成人男女(学生可)
- ◆活動日時／7月24日から毎週月・木曜日の週2回(全10回)
- ◆時間／午後7時～9時
- ◆会場／市営テニスコート(大曲川原町)
- ◆年会費／無料(保険料自己負担)
- 【問い合わせ・申し込み】
畠山歯科医院
0187-62-3636 まで

講習 Course

食生活習慣改善を体験 健康づくりセミナー

- ペアーレ大曲の「健康づくりセミナー」を行います。新しい疾患についての講演や、ヘルシー弁当を食べながらの食生活改善などを行いますぜひご参加ください。
- ◆日時／7月23日(日)午前9時30分～午後2時
- ◆会場／ペアーレ大曲
- ◆定員／40人
- ◆参加費／1,000円(昼食代含む)
- 【問い合わせ・申し込み】
ペアーレ大曲
0187-63-8600 まで

県知事指定養成研修事業 福祉用具専門相談員養成講座

- ◆対象／全日程を受講できる方
- ◆期間／7月22日(土)から8月6日(土)までの土・日曜日中心
- ◆会場／協和市民センターなど
- ◆定員／30人
- ◆受講料／30,000円
- ◆申込受付期限／7月15日(土)
- 【問い合わせ・申し込み】
日本労働者協同組合連合会
センター事業団秋田事業所
018-892-3784 まで

横手市で実施します 調理員養成講習会その2

- ◆対象／市内に在住する母子家庭の母または寡婦
- ◆日時／7月13日(木)、18日(火)、20日(木)午前9時～午後5時
- ◆会場／かまくら館(横手市)
- ◆定員／20人
- ◆受講料／テキスト代として750円
- ◆申込締切期限／7月6日(木)
- 【問い合わせ・申し込み】
秋田県ひとり親家庭就業
・自立支援センター
018-896-1531 まで

情報交差点

Information

Events イベント

古代の生活を体験！ 縄文発見・ワクワク体験

縄文時代の火起こし、まがたまづくり、払田柵跡の発掘現場の見学や発掘体験を行う体験学習を行います。みなさんの参加をお待ちしています。

- ◆対象／小・中学生とその保護者
- ◆期間／7月26日(水)から28日(金)まで
- ◆時間／午前9時30分～11時30分、午後1時30分～3時30分
- ◆会場／埋蔵文化財センター
- ◆参加費／無料
- 【問い合わせ・申し込み】
埋蔵文化財センター
0187-69-3331 まで

フラワーデザイン 花と食の饗宴 2006

いけばなや地域の食材を使用した料理を味わう「花と食の饗宴2006」を行います。詳しくはお問い合わせください。

- ◆日時／7月15日(金)午後3時～
- ◆会場／大曲エンパイヤホテル
- ◆参加費／第1部・2部とも各3,000円
- ◆申込受付期限／7月7日(金)
- 【問い合わせ】
NPO 冠婚葬祭研究会
0187-63-1604 まで

お待ちしております 大曲農業高校販売所

- ◆期間／7月13日から10月19日までの毎週木曜日
- ◆時間／午前11時～午後0時30分
- ◆会場／大曲農業高校職員玄関前
- ◆販売物／卵、加工食品、草花、果樹、露地・施設野菜など
- 【問い合わせ】
大曲農業高校
0187-63-2257 まで

大仙の歴史・文化を辿る 「ふるさと探訪」

- ◆期日／【第7・8回】7月22日(土)
- ◆時間／【第7回】午後1時～【第8回】午後3時～
- ◆会場／大曲仙北広域交流センター
- ◆受講料／各講座400円
- ◆学習テーマ／【第7回】語りた・伝えたい「ふるさと」の民話【第8回】大綱引きに見る日韓の文化
- ◆申し込み方法／電話かファックス(018-824-1799)、またはEメール(sgcen002@mail2.pref.akita.jp)で申し込みください。
- ◆申込受付期限／7月15日(土)
- 【問い合わせ・申し込み】
あきた県民カレッジ事務局
018-865-1171 まで

花火と踊りを楽しもう 第15回七夕花火会

- 大曲養護学校の七夕花火大会を行います。ぜひご来場ください。
- ◆日時／7月14日(金)午後6時15分～8時※小雨決行
 - ◆会場／大曲養護学校駐車場
 - 【問い合わせ】
大曲養護学校
0187-68-4123 まで

生命の証、魂の書 県立近代美術館「大井錦亭展」

- ◆期間／7月17日(月)まで
 - ◆時間／午前9時30分～午後5時
 - ◆会場／ 県立近代美術館
 - ◆入場料／一般800円、学生600円、小・中学生400円
 - 【問い合わせ】
県立近代美術館
0182-33-8855 まで
- 流麗な書をお楽しみください。

「うつ」に対する正しい知識 うつ講座とうつ病家族教室

うつ病の正しい知識と、その対応について学ぶ講座を行います。

- うつ講座
日時／7月11日(火)午後1時30分～3時30分
会場／角館広域交流センター
内容／講話「うつ病とその対応について」
講師／佐々木道基・市立角館総合病院神経精神科長
- うつ病家族教室
対象／うつ病の方をもつ家族
日時／7月19日(水)午後1時30分～3時30分
会場／大仙保健所
内容／家族同士の話し合い
- 【問い合わせ・申し込み】
大仙保健所 0187-63-5355 まで

お知らせ Information

秘密は厳守します 無料法律相談支所巡回相談

- 相談は1人30分以内で申し込みが必要です。
- ◆日時／7月27日(木)午前10時～午後3時
 - ◆会場／社会福祉協議会中仙支所
 - ◆相談員／佐々木優弁護士
 - 【問い合わせ・申し込み】
社会福祉協議会中仙支所
0187-56-4670 まで

お気軽にご相談ください 相続や土地家屋の無料相談

- 相談は1人30分以内で申し込みが必要です。
- ◆日時／7月28日(金)午前10時～午後3時
 - ◆会場／市社会福祉協議会
 - ◆相談員／相馬完司法書士
 - 【問い合わせ・申し込み】
市社会福祉協議会
0187-63-0277 まで

市では、花、木、鳥のほか「市民の歌」の制定作業を進めています。市民の歌は、子どもから大人まで世代を超えて広く愛唱され、親しまれるものになりたいと考えています。

みなさんから素晴らしい言葉（フレーズ）を応募してもらい、その応募作品を基に市民の歌制定委員会が歌詞を作り、専門家に作曲を依頼する予定です。

市民に愛されるような言葉をご応募ください。

歌は、10月1日開催予定の大仙市誕生1周年記念式典または今後の広報、市のホームページで発表します。

- ◆応募資格／市内に住所がある方（年齢制限なし）
- ◆募集するフレーズ／大仙市をイメージするようなもの、未来に向かってみんなの心を一つに結ぶようなもの
- ◆申し込み方法／①市民の歌にしたい言葉②住所③氏名（ふりがな）④年齢⑤電話番号を記入し申し込みください。
- ◆申し込み先／総合政策課内「市民の歌制定委員会事務局」
- 住所／〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
- ◆申込受付期限／7月10日（月）
- ◆その他／応募者の中から抽選で5人の方に謝礼品を贈呈

「市民の歌」フレーズ募集 大仙市 言葉をイメージする ご応募ください

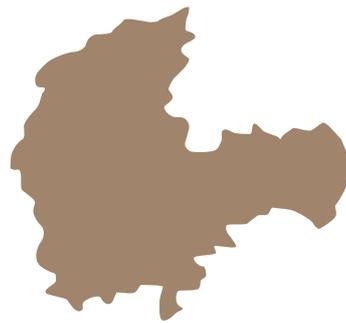
【問い合わせ・申し込み】

総合政策課内「市民の歌制定委員会事務局」
0187-63-1111 内線 229 まで
ファックス／0187-63-1119
メール／sougou@city.daisen.akita.jp

編集後記

▼ワールドカップのためにハードディスクレコーダーを購入した。普段あまりテレビを見なかったが、最近は心なしかテレビを見るのが楽しみになった気がする。テレビやインターネット、携帯電話などの家電製品は、情報収集やコミュニケーションに優れた道具として私たちの生活を豊かにしてくれた▼先日取材したおやじ元氣講座。ハープの効果などについて学んだが、特に印象に残っているのは「旬のものを食べるのが体にとって一番いい」という言葉。緑溢れる季節。大地の恵みをいっぱい吸い上げた旬のものを食べ、暑い季節を乗り切る生命力を分けてもらいたい▼家電は人工的な豊かさ、食べ物は自然の恵み。対照的な2つだが、両方うまく組み合わせながら上手に暮らすのが理想だ▼近々休みを利用して、家族でさくらんぼ狩りに出かけようとして計画している。出かける前にインターネットで周辺情報を収集し、さくらんぼを楽しむにしている娘に生命力溢れる「旬」の味を体験させてあげたい。

(朋)



人口と世帯数 (5/31現在) ※()内は前月比

人口	94,878 人 (- 75)
男	45,037 人 (- 39)
女	49,841 人 (- 36)
世帯数	30,447 世帯 (+ 12)

- 編集発行 秋田県大仙市企画部秘書広報課 TEL 0187-63-1111
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 株式会社 仙北印刷所



大豆インキを使用しています。